

Ⅲ 結果の概要

【学校調査】

1 総括

(1) 学校(園)数、在学者数及び教員数(本務者)

- ① 学校(園)数は、幼稚園が1,039園、小学校が1,358校、中学校が818校、高等学校が431校、高等学校通信制が13校、中等教育学校が8校、特別支援学校が69校、専修学校が413校、各種学校が161校となった。前年度と比較すると、特別支援学校で増加し、高等学校通信制、中等教育学校では増減がなく、他の学校種は減少した。
- ② 在学者数は、幼稚園が172,467人、小学校が585,535人、中学校が312,764人、高等学校が312,593人、高等学校通信制が13,742人、中等教育学校が6,422人、特別支援学校が12,367人、専修学校が144,189人、各種学校が22,185人となった。前年度と比較すると、中学校、中等教育学校、特別支援学校、専修学校で増加し、他の学校種は減少した。
- ③ 教員数(本務者)は、幼稚園が10,795人、小学校が32,335人、中学校が19,406人、高等学校が19,009人、高等学校通信制が296人、中等教育学校が495人、特別支援学校が5,868人、専修学校が7,427人、各種学校が1,603人となった。前年度と比較すると、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校では増加し、高等学校通信制、専修学校、各種学校では減少した。この傾向は前年度と同様である。

(表1、統計表1-1)

表1 学校(園)数、在学者数及び教員数(本務者)

(単位:校、園、人、%)

区分	学校(園)数				在学者数				教員数(本務者)			
	平成25年度	平成24年度	増減数	増減率	平成25年度	平成24年度	増減数	増減率	平成25年度	平成24年度	増減数	増減率
幼稚園	1,039	1,042	△3	△0.3	172,467	173,642	△1,175	△0.7	10,795	10,708	87	0.8
小学校	1,358	1,363	△5	△0.4	585,535	586,412	△877	△0.1	32,335	32,246	89	0.3
中学校	818	819	△1	△0.1	312,764	311,758	1,006	0.3	19,406	19,209	197	1.0
高等学校	431	432	△1	△0.2	312,593	315,262	△2,669	△0.8	19,009	18,951	58	0.3
高等学校通信制	13	13	0	0.0	13,742	14,045	△303	△2.2	296	302	△6	△2.0
中等教育学校	8	8	0	0.0	6,422	5,940	482	8.1	495	453	42	9.3
特別支援学校	69	68	1	1.5	12,367	12,025	342	2.8	5,868	5,804	64	1.1
専修学校	413	419	△6	△1.4	144,189	141,989	2,200	1.5	7,427	7,455	△28	△0.4
各種学校	161	163	△2	△1.2	22,185	22,563	△378	△1.7	1,603	1,608	△5	△0.3

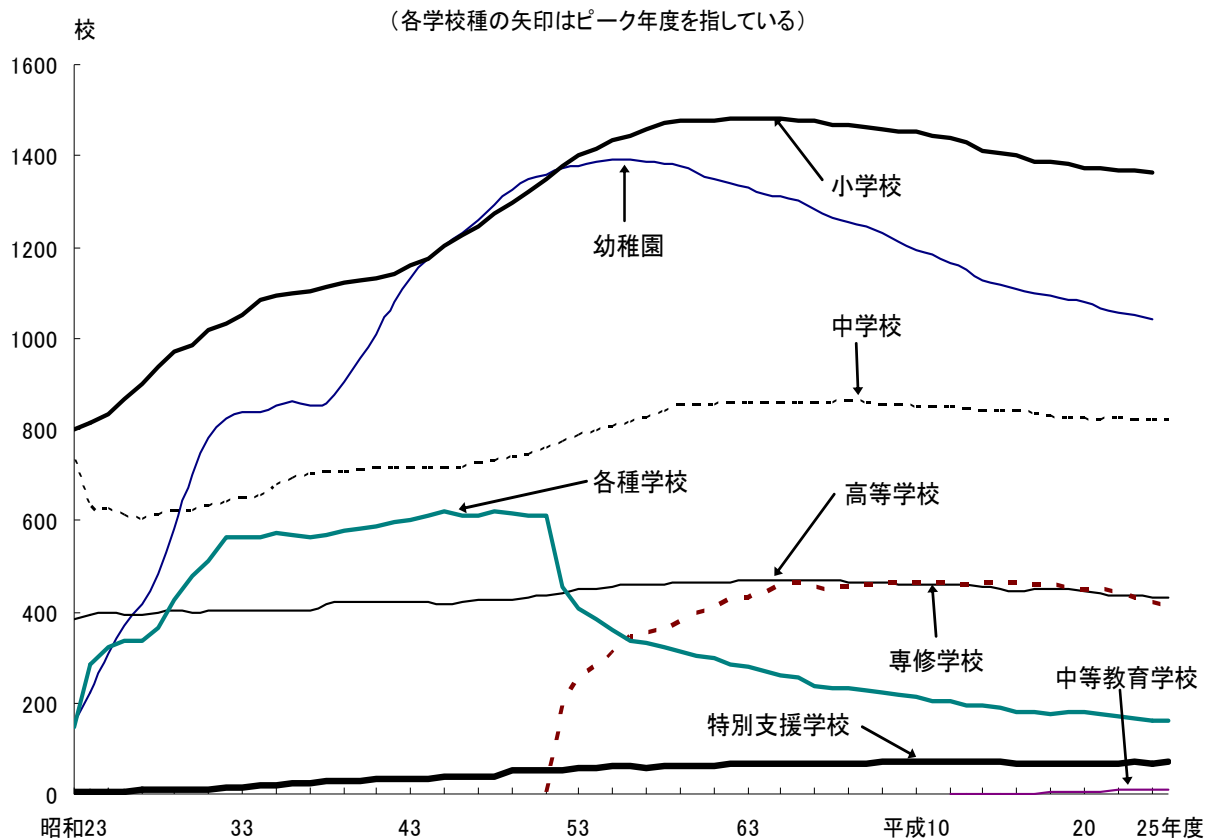
注1) 高等学校で全日制又は定時制と通信制課程を併置している9校は、「高等学校」と「高等学校通信制」の両方に計上している。

2) 高等学校及び中等教育学校の在学者数は、本科の人数で専攻科及び別科は含まない。

(2) 学校(園)数の推移

- ① 昭和23年度からの学校(園)数の推移をみると、幼稚園は昭和23年度に157園であったが昭和55年度に1,390園となりピークを迎えた。その後は減少傾向になり、今年度は32年連続して減少した。
- ② 小学校は、昭和23年度に798校であったが平成元年度に1,482校となりピークを迎えた。その後は減少傾向になり、今年度は21年連続して減少した。
- ③ 中学校は、昭和23年度に732校であったが平成6年度に861校となりピークを迎えた。その翌年度からは減少傾向になり、今年度はピーク時より43校減少した。
- ④ 高等学校は、昭和23年度に382校であったが平成元年度に468校となりピークを迎えた。今年度はピーク時より37校減少した。
- ⑤ 中等教育学校は平成12年度に1校が発足し、平成22年度に8校となり、その後増減はない。
- ⑥ 特別支援学校は、昭和23年度に6校であったが平成9年度に70校となりピークを迎えた。今年度は前年度より1校増加して69校となった。
- ⑦ 専修学校は、昭和51年度に制度が発足した当初は5校であった。平成10年度に466校となりピークを迎えたが、その後は増減を繰り返し、今年度はピーク時より53校減少した。
- ⑧ 各種学校は、昭和23年度に149校であったが昭和45年度に622校となりピークを迎えた。昭和49年度からは平成19年度を除き減少しており今年度は161校となった。(図1、付表I-1～8)

図1 学校(園)数の推移(昭和23年度～平成25年度)



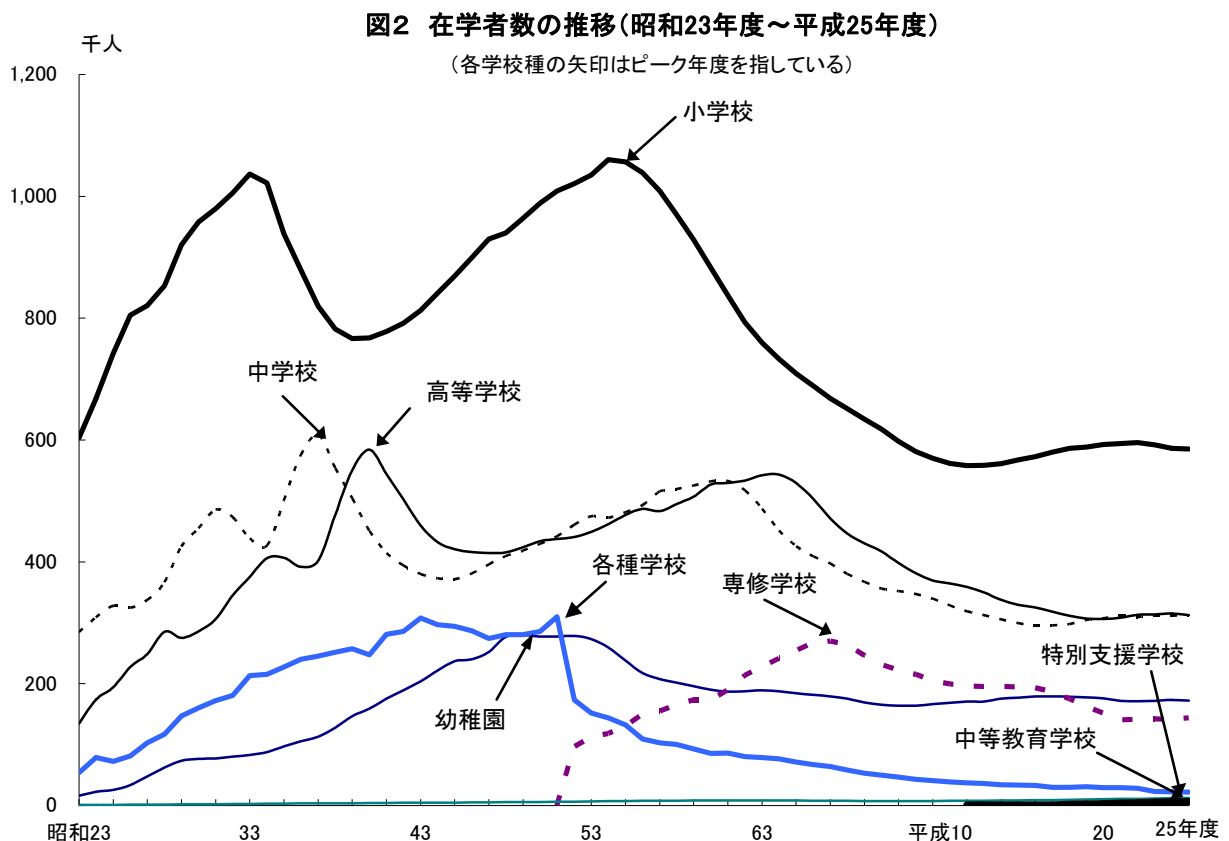
注1) 特別支援学校の平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計である。

注2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(3) 在学者数の推移

- ① 昭和23年度からの在学者数の推移をみると、幼稚園園児数は昭和49年度の279,741人をピークにその後は増減を繰り返し、平成18年度から平成22年度までは5年連続で減少した。今年度はピーク時より107,274人減少した。
- ② 小学校児童数は、昭和54年度に1,060,176人のピークとなった。その後、平成12年度まで21年連続して減少が続いたが、平成13年度から平成22年度まで10年連続で増加した。平成23年度から減少に転じ、今年度はピーク時より474,641人減少した。
- ③ 中学校生徒数は、昭和37年度にピークを迎え607,891人になった。その後、増減を繰り返し、今年度はピーク時より295,127人減少した。
- ④ 高等学校生徒数は、昭和40年度に584,103人のピークとなったが、昭和47年度まで減少が続いた。その後は増減を繰り返し、平成21年度から4年連続の増加となったが、今年度はピーク時より271,510人が減少した。
- ⑤ 中等教育学校生徒数は、平成12年度は708人であったが、平成16年度以降は増加が続いており今年度は6,422人となった。
- ⑥ 特別支援学校在学者数は、昭和23年度は949人であったが、昭和63年度まで増加した。翌年からは8年間減少し、平成9年度からは17年連続で増加が続いており今年度は12,367人となった。
- ⑦ 専修学校生徒数は、制度が発足した昭和51年度には383人であったが、平成4年度に270,045人となりピークを迎えた。その後、平成14年度を除き平成21年度まで減少が続き、今年度はピーク時より125,856人減少した。
- ⑧ 各種学校生徒数は、昭和23年度に54,068人であったが、昭和51年度には310,131人のピークとなった。その後は昭和61年度と平成19年度を除き減少が続き、今年度はピーク時より287,946人減少した。

(図2、付表I-1～8)



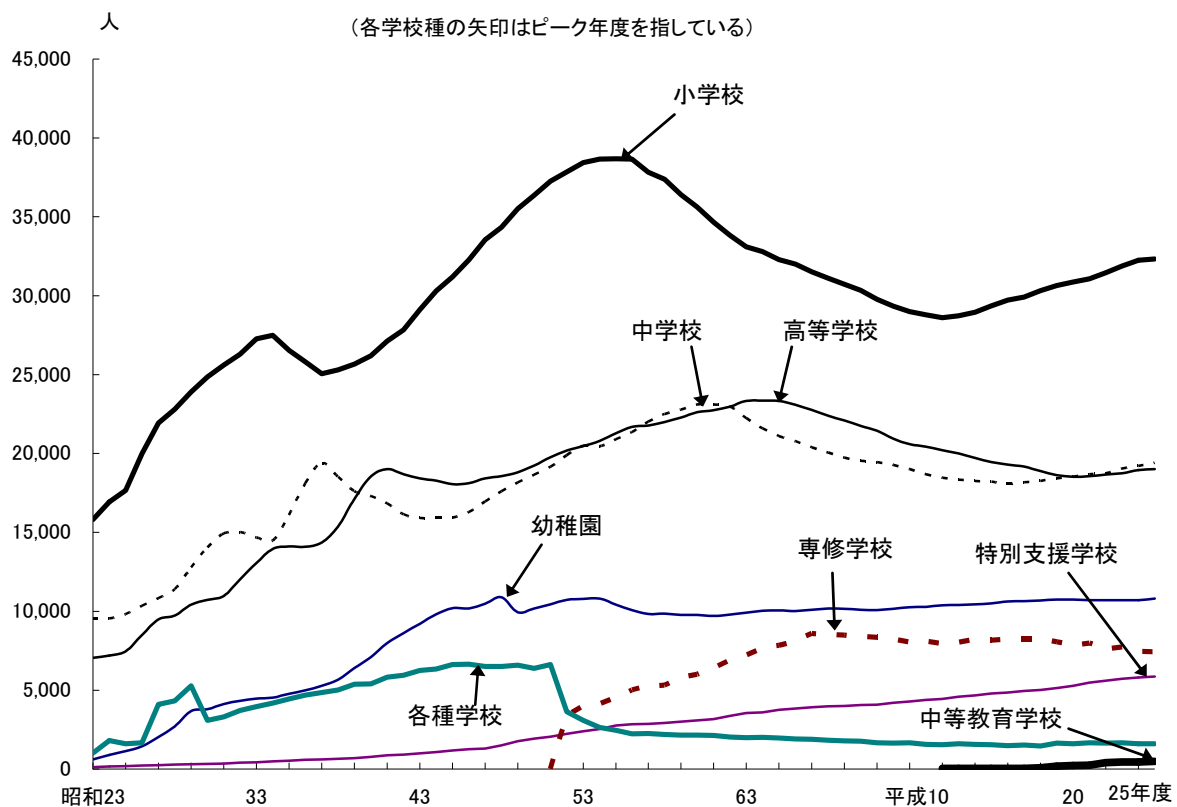
注1) 特別支援学校の平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計である。
 注2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(4) 教員数(本務者)の推移

- ① 昭和23年度からの教員数の推移をみると、幼稚園教職員は昭和48年度の10,886人が最多であったが、今年度は10,795人となった。
- ② 小学校教員数は、昭和55年度に38,676人となり最多であったが、翌年度から減少が続いた。平成13年度からは増加に転じ今年度は32,335人となった。
- ③ 中学校教員数は、昭和61年度に23,111人となり最多であったが、翌年度から平成16年度まで減少が続いた。その後、平成17年度からは増加に転じ今年度は19,406人となった。
- ④ 高等学校教員数は、平成元年度に23,346人となり最多となった。その後、平成20年度まで減少が続いた。その後、平成21年度からは増加に転じ今年度は19,009人となった。
- ⑤ 中等教育学校教員数は、平成12年度は40人であったが、平成18年度から増加が続き、今年度は495人となった。
- ⑥ 特別支援学校教員数は、昭和23年度は120人であったが、増加を続け今年度は5,868人となった。
- ⑦ 専修学校教員数は、昭和51年度の制度発足時には18人であったが、平成4年度に8,589人で最多となり、その後増減を繰り返し、今年度は7,427人となった。
- ⑧ 各種学校教員数は、昭和23年度に1,006人であったが、昭和46年度に6,646人で最多となり、その後、増減を繰り返し、今年度は1,603人となった。

(図3、付表I-1～8)

図3 教員数(本務者)の推移(昭和23年度～平成25年度)



注1) 特別支援学校の平成18年度までは、盲・聾・養護学校の合計である。
 2) 専修学校制度は昭和51年に発足した。

(5) 長期欠席者数

【小学校】

- ① 長期欠席者数（前年度間に30日以上欠席した人数）は4,435人で、平成19年度間から4年連続して減少したが、平成23年度間から2年連続で増加した。
- ② 平成24年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が43.9%、病気が27.6%を占めている。

【中学校】

- ① 長期欠席者数は9,120人で、平成21年度間から3年連続で減少したが、平成24年度間は増加した。
- ② 平成24年度間の理由別内訳の構成比をみると、不登校が79.7%、病気が12.5%を占めている。

（表2、図4、統計表3-5、4-6）

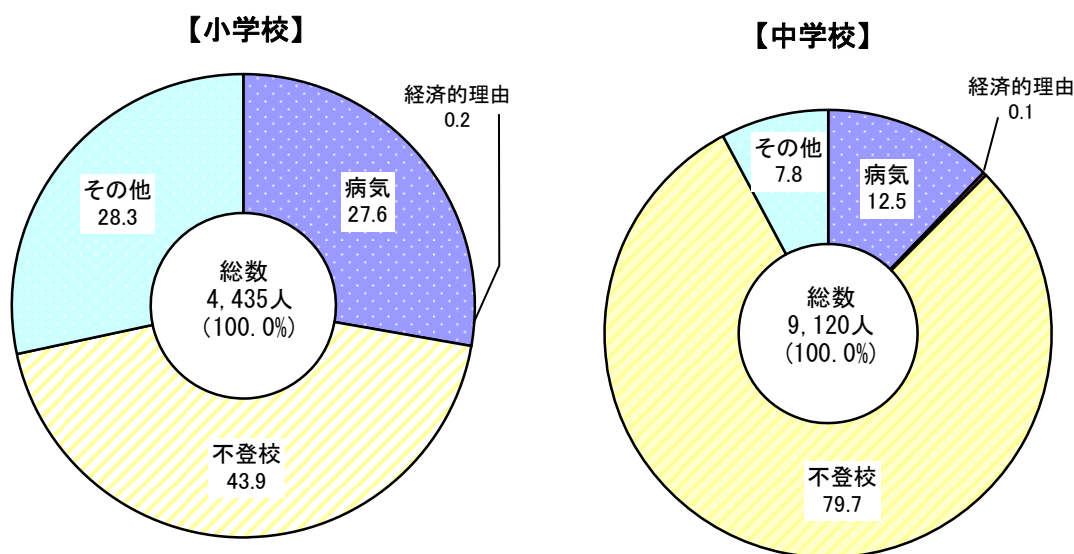
表2 長期欠席者数（小学校、中学校）

（単位：人、％）

区分	平成14年度間	19	20	21	22	23	24	増減 (対前年度間)	構成比
小学校	4,803	4,329	4,227	4,107	3,965	4,197	4,435	238	100.0
病気	1,805	1,264	1,134	1,078	1,021	983	1,224	241	27.6
経済的理由	4	1	5	4	1	—	8	8	0.2
不登校	2,038	1,914	1,862	1,907	1,969	2,056	1,949	△107	43.9
その他	956	1,150	1,226	1,118	974	1,158	1,254	96	28.3
中学校	9,447	9,789	9,882	9,391	9,126	8,905	9,120	215	100.0
病気	924	1,055	1,070	902	922	787	1,140	353	12.5
経済的理由	25	11	9	12	6	3	5	2	0.1
不登校	7,917	8,009	7,899	7,747	7,720	7,590	7,267	△323	79.7
その他	581	714	904	730	478	525	708	183	7.8

注) 長期欠席者数内訳の「その他」とは、「病気」、「経済的理由」、「不登校」のいずれにも該当しない理由で長期欠席した者及び欠席理由が2つ以上あり（例えば「病気」、「不登校」など）主たる理由を特定できない者の人数である。

図4 長期欠席者数の理由別内訳（平成24年度間）



(6) 卒業後の状況

【中学校】

- ① 中学校卒業生について平成15年3月からの推移をみると、卒業生数は平成18年まで連続して減少が続いていたが、平成19年以降は増減を繰り返し、平成25年3月は前年より減少した。
- ② 高等学校等への進学率は、98.3%で前年度より0.1ポイント上昇した。男女別では、毎年、女子が男子を上回っており、今年度は0.6ポイント差となった。

【高等学校】

- ① 高等学校卒業生数について平成15年3月からの推移をみると、平成21年まで減少が続いていたが、平成22年から増加に転じている。
- ② 大学等進学率は、65.2%で前年度より0.5ポイント低下し、10年連続過去最高とはならなかった。男女別にみると、男子は61.6%で前年度より0.7ポイント低下し、女子は68.6%で前年度より0.5ポイント低下した。男女を比較すると女子が男子を7.0ポイント上回った。
- ③ 専修学校専門課程への進学率は、平成22年度から引続き上昇して今年度は13.0%となり、前年度より1.0ポイント上昇した。
- ④ 高等学校卒業生の就職率は、5.9%で前年度より0.3ポイント上昇した。

(図5-1、5-2、5-3、統計表10-1、11-1)

図5-1 中学校の卒業生数及び進学率の推移

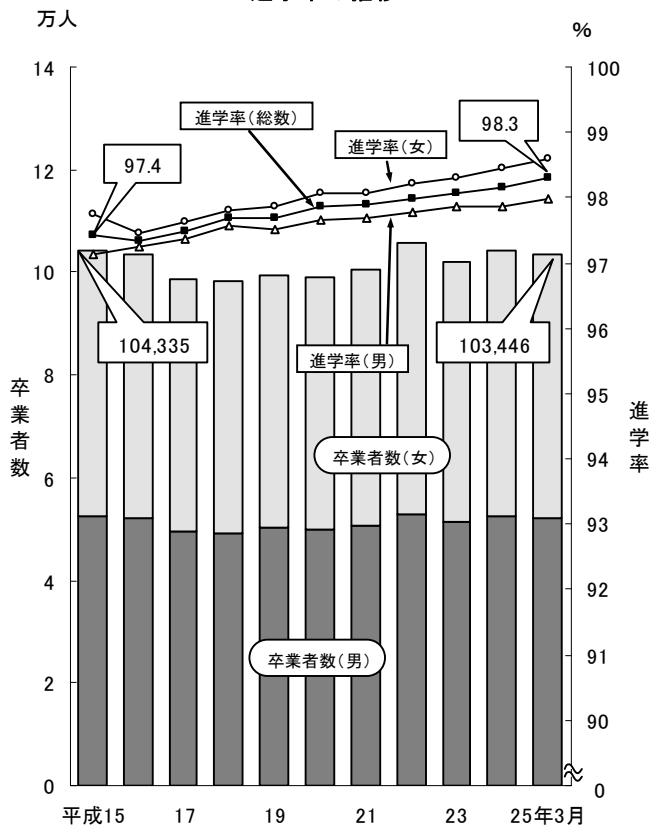


図5-2 高等学校の卒業生数及び進学率の推移

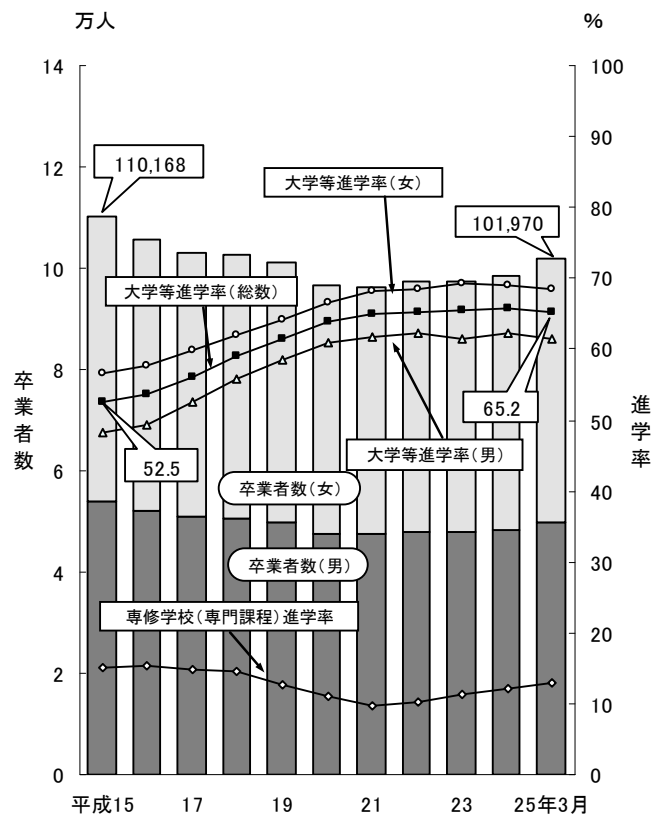
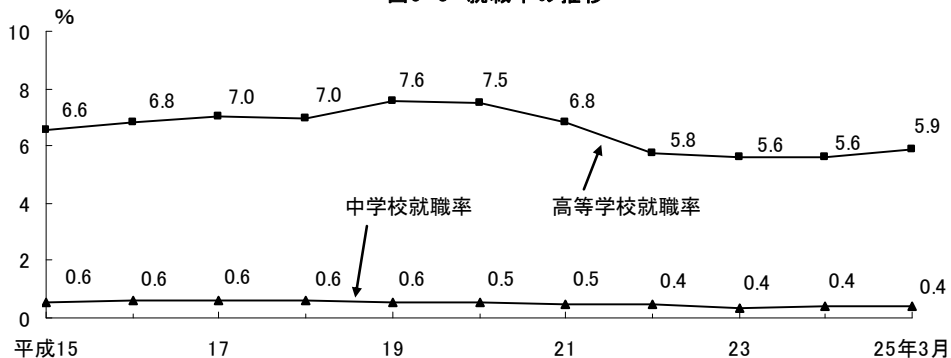


図5-3 就職率の推移



2 幼稚園

(1) 幼稚園数

- ① 幼稚園数は1,039園で、前年度より3園減少した。10年前の平成15年度と比較すると78園減少した。
- ② 地域別に前年度増減をみると、区部が744園で2園、市部が291園で1園それぞれ減少し、郡部は4園で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、国立が2園で前年度と同数、公立が189園で1園、私立が848園で2園それぞれ前年度より減少した。構成比では私立が全体の81.6%を占めている。(表3、統計表2-1)

表3 地域、設置者別幼稚園数

(単位：園、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	1,117	1,080	1,064	1,057	1,051	1,042	1,039	△3	100.0
(地域別)									
区部	797	775	763	757	753	746	744	△2	71.6
市部	316	301	297	296	294	292	291	△1	28.0
郡部	4	4	4	4	4	4	4	0	0.4
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	2	2	2	2	2	2	2	0	0.2
公立	229 (9)	213 (10)	201 (10)	197 (10)	195 (9)	190 (9)	189 (9)	△1	18.2
私立	886 (31)	865 (28)	861 (29)	858 (30)	854 (28)	850 (26)	848 (32)	△2	81.6

注) () 内数値は、休園等の幼稚園数で内数である。

(2) 学級数

- ① 学級数は6,655学級で、前年度より36学級減少した。
- ② 設置者別にみると、国立が14学級、公立が584学級、私立が6,057学級となった。(表4、統計表2-1)

表4 設置者別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	6,869	6,849	6,773	6,722	6,703	6,691	6,655	△36	100.0
国立	12	13	13	13	14	14	14	0	0.2
公立	668	635	612	596	591	588	584	△4	8.8
私立	6,189	6,201	6,148	6,113	6,098	6,089	6,057	△32	91.0

(3) 園児数

- ① 園児数は172,467人で、前年度より1,175人減少した。10年前の平成15年度と比較すると4,438人減少した。
- ② 地域別にみると、区部が111,454人で前年度より366人減少した。構成比では区部が64.6%を占めている。
- ③ 設置者別では、国立が361人で18人、私立が158,051人で1,328人それぞれ前年度より減少した。また、公立が14,055人で前年度より171人増加した。構成比では私立が全体の91.6%を占めている。

(表5、統計表2-4)

表5 男女、地域、設置者別園児数

(単位：人、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	176,905	175,952	172,019	171,273	171,769	173,642	172,467	△1,175	100.0
(男女別)									
男	89,843	89,382	87,283	86,676	86,920	87,841	87,183	△658	50.6
女	87,062	86,570	84,736	84,597	84,849	85,801	85,284	△517	49.4
(地域別)									
区部	112,390	111,738	109,699	109,707	110,197	111,820	111,454	△366	64.6
市部	63,978	63,676	61,817	61,119	61,138	61,387	60,521	△866	35.1
郡部	537	538	503	447	434	435	492	57	0.3
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	388	383	382	370	396	379	361	△18	0.2
公立	15,422	14,362	13,705	13,489	13,628	13,884	14,055	171	8.1
私立	161,095	161,207	157,932	157,414	157,745	159,379	158,051	△1,328	91.6

(4) 年齢別園児数

年齢別では、3歳児が52,819人で前年度より50人増加し、4歳児は59,327人で1,040人、5歳児は60,321人で185人それぞれ減少した。(表6、統計表2-3)

表6 年齢別園児数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)
(実数)								
総数	176,905	175,952	172,019	171,273	171,769	173,642	172,467	△1,175
3歳児	49,338	51,622	50,126	53,285	53,543	52,769	52,819	50
4歳児	64,177	61,786	59,886	57,851	60,557	60,367	59,327	△1,040
5歳児	63,390	62,544	62,007	60,137	57,669	60,506	60,321	△185
(構成比)								
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
3歳児	27.9	29.3	29.1	31.1	31.2	30.4	30.6	0.2
4歳児	36.3	35.1	34.8	33.8	35.3	34.8	34.4	△0.4
5歳児	35.8	35.5	36.0	35.1	33.6	34.8	35.0	0.2

(5) 1学級当たりの園児数及び教員(本務者)1人当たりの園児数

1学級当たりの園児数は25.9人で、前年度より0.1人減少した。教員(本務者)1人当たりの園児数は16.0人で0.2人減少した。(表7、統計表2-1、2-4、2-5)

表7 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの園児数

(単位：学級、人)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)
学級数	6,869	6,849	6,773	6,722	6,703	6,691	6,655	△36
園児数	176,905	175,952	172,019	171,273	171,769	173,642	172,467	△1,175
教員数(本務者)	10,496	10,738	10,702	10,705	10,695	10,708	10,795	87
1学級当たり 園児数	25.8	25.7	25.4	25.5	25.6	26.0	25.9	△0.1
教員1人当たり 園児数	16.9	16.4	16.1	16.0	16.1	16.2	16.0	△0.2

(6) 入園児数

新規入園児数は61,270人で前年度より315人減少した。構成比を10年前の平成15年度と比較すると、3歳からの入園児数が11.6ポイント上昇したが、4歳は11.1ポイント、5歳は0.4ポイントそれぞれ低下した。

(表8、統計表2-4)

表8 年齢別新規入園児数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)
(実数)								
新規入園児総数	67,529	63,759	60,612	62,938	62,707	61,585	61,270	△315
3歳から入園	48,814	50,670	49,078	52,004	52,213	51,397	51,378	△19
4歳から入園	17,047	11,587	10,181	9,604	9,292	8,896	8,612	△284
5歳から入園	1,668	1,502	1,353	1,330	1,202	1,292	1,280	△12
(構成比)								
新規入園児総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
3歳から入園	72.3	79.5	81.0	82.6	83.3	83.5	83.9	0.4
4歳から入園	25.2	18.2	16.8	15.3	14.8	14.4	14.1	△0.3
5歳から入園	2.5	2.4	2.2	2.1	1.9	2.1	2.1	—

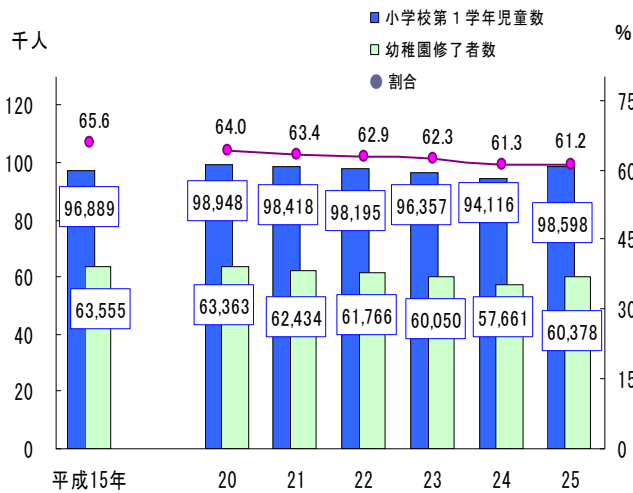
注) 新規入園児とは、当該年度4月1日から5月1日に入園した者である。

(7) 幼稚園修了者数と小学校第1学年児童数

幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合は61.2%で、前年度より0.1ポイント低下した。

(図6、統計表2-4、3-3)

図6 幼稚園修了者数の小学校第1学年児童数に対する割合の推移



注1) 比率 = $\frac{\text{幼稚園修了者数}}{\text{小学校第1学年児童数}} \times 100$

2) 幼稚園修了者数は各年3月修了者、小学校第1学年児童数は各年5月1日在籍者

(参考)

小学校入学前の幼児人口

(単位：人)

区分	平成23年 1月1日	平成24年 1月1日	平成25年 1月1日
6歳	98,080	94,378	98,761
5歳	94,622	99,047	100,691
4歳	99,439	100,942	102,210
3歳	101,480	102,783	103,104
2歳	103,795	103,875	105,165
1歳	105,020	106,112	104,441
0歳	104,772	102,469	103,946

資料：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
(総務局統計部人口統計課)

(8) 教員数(本務者)及び教育補助員数(本務者)

- ① 教員数は10,795人で、前年度より87人増加した。10年前の平成15年度と比較すると299人増加した。
- ② 男女別にみると、男が721人で前年度より12人減少し、女が10,074人で99人増加した。
- ③ 設置者別では、国立が32人で8人、公立が855人で7人、私立が9,908人で72人、それぞれ前年度より増加した。
- ④ 教員数に占める女性教員の割合は93.3%で前年度より0.1ポイント上昇した。
- ⑤ 教育補助員(教育活動の補助にあたる者)は386人で前年度より26人減少した。

(表9、統計表2-5)

表9 男女、設置者別教員数(本務者)及び教育補助員数(本務者)

(単位:人、%、ポイント)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	10,496	10,738	10,702	10,705	10,695	10,708	10,795	87	100.0
(男女別)									
男	641	713	707	703	724	733	721	△ 12	6.7
女	9,855	10,025	9,995	10,002	9,971	9,975	10,074	99	93.3
(設置者別)									
国 立	17	18	18	19	21	24	32	8	0.3
公 立	967	898	883	878	865	848	855	7	7.9
私 立	9,512	9,822	9,801	9,808	9,809	9,836	9,908	72	91.8
女性教員の割合	93.9	93.4	93.4	93.4	93.2	93.2	93.3	0.1	—
教育補助員	470	452	404	418	427	412	386	△ 26	—

3 小学校

(1) 学校数

- ① 学校数は1,358校で前年度より5校減少した。10年前の平成15年度と比較すると46校減少した。
- ② 地域別にみると、区部は880校で3校、市部は452校で1校、島部は15校で1校前年度よりそれぞれ減少し、郡部は11校で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、公立が1,299校で前年度より5校減少した。国立は6校、私立は53校で前年度と同数である。構成比では、公立が全体の95.7%を占めている。

(表10、統計表3-1)

表10 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	1,404	1,375	1,373	1,370	1,367	1,363	1,358	△5	100.0
(地域別)									
区部	908	890	889	886	885	883	880	△3	64.8
市部	460	457	457	457	455	453	452	△1	33.3
郡部	12	11	11	11	11	11	11	0	0.8
島部	24	17	16	16	16	16	15	△1	1.1
(設置者別)									
国立	6	6	6	6	6	6	6	0	0.4
公立	1,347	1,316	1,314	1,311	1,308	1,304	1,299	△5	95.7
私立	51	53	53	53	53	53	53	0	3.9

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数

- ① 学級数は19,974学級で前年度より5学級増加した。10年前の平成15年度と比較すると1,191学級増加した。
- ② 設置者別では、国立は117学級で1学級、公立は19,058学級で4学級前年度よりそれぞれ減少し、私立は799学級で前年度より10学級増加した。
- ③ 収容人員別では1学級31人～35人の学級が6,948学級で最も多く、次いで26人～30人学級の6,050学級、36人～40人の学級が2,879学級となった。

(表11、統計表3-2)

表11 設置者、収容人員別学級数

(単位：学級)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	収容人員別							
								12人以下	13～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46人以上
総数	18,783	19,448	19,503	19,614	19,732	19,969	19,974	1,007	548	2,459	6,050	6,948	2,879	80	3
国立	122	121	120	121	119	118	117	5	—	—	6	42	64	—	—
公立	17,940	18,548	18,599	18,705	18,826	19,062	19,058	961	513	2,400	5,966	6,708	2,497	13	—
私立	721	779	784	788	787	789	799	41	35	59	78	198	318	67	3

(3) 児童数

- ① 児童数は585,535人で前年度より877人減少した。
- ② 地域別にみると、区部が369,453人で前年度より651人増加し、市部が211,766人で1,485人、郡部が2,984人で27人、島部が1,332人で16人それぞれ前年度より減少した。
- ③ 設置者別では、国公立全全ての設置者で前年度より減少した。構成比では、公立が全体の94.9%を占めている。
- ④ 設置者別の構成比では、公立が全体の94.9%を占めている。

(表12、統計3-3)

表 12 男女、地域、設置者別児童数

(単位：人、%)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	567,216	592,736	594,326	595,669	592,192	586,412	585,535	△ 877	100.0
(男女別)									
男	289,774	303,003	304,016	304,874	302,864	299,714	299,332	△ 382	51.1
女	277,442	289,733	290,310	290,795	289,328	286,698	286,203	△ 495	48.9
(地域別)									
区 部	355,472	371,523	372,285	373,678	371,935	368,802	369,453	651	63.1
市 部	206,999	216,809	217,620	217,599	215,902	213,251	211,766	△ 1,485	36.2
郡 部	3,314	3,107	3,095	3,047	3,010	3,011	2,984	△ 27	0.5
島 部	1,431	1,297	1,326	1,345	1,345	1,348	1,332	△ 16	0.2
(設置者別)									
国 立	4,550	4,463	4,434	4,381	4,292	4,171	4,075	△ 96	0.7
公 立	536,254	561,302	562,886	564,426	561,329	555,980	555,445	△ 535	94.9
私 立	26,412	26,971	27,006	26,862	26,571	26,261	26,015	△ 246	4.4

(4) 1学級当たりの児童数及び教員(本務者)1人当たりの児童数

1学級当たりの児童数は29.3人で前年度より0.1人減少し、10年前の平成15年度と比較すると0.9人減少となった。また、教員(本務者)1人当たりの児童数は18.1人で前年度より0.1人減少し、10年前の平成15年度と比較すると1.2人減少した。(表13、統計表3-2、3-3、3-6)

表13 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの児童数

(単位：学級、人)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)
学 級 数	18,783	19,448	19,503	19,614	19,732	19,969	19,974	5
児 童 数	567,216	592,736	594,326	595,669	592,192	586,412	585,535	△ 877
教員数(本務者)	29,373	30,860	31,077	31,447	31,877	32,246	32,335	89
1学級当たり 児童数	30.2	30.5	30.5	30.4	30.0	29.4	29.3	△ 0.1
教員1人当たり 児童数	19.3	19.2	19.1	18.9	18.6	18.2	18.1	△ 0.1

(5) 特別支援学級のある学校数、学級数、児童数

特別支援学級のある学校数は334校で、前年度より7校増加した。また、学級数は848学級で、前年度より7学級増加した。児童数は5,529人で、前年度より119人増加し、10年前の平成15年度と比較すると2,075人増加した。(表14、統計表3-8)

表14 特別支援学級のある学校数、学級数及び児童数

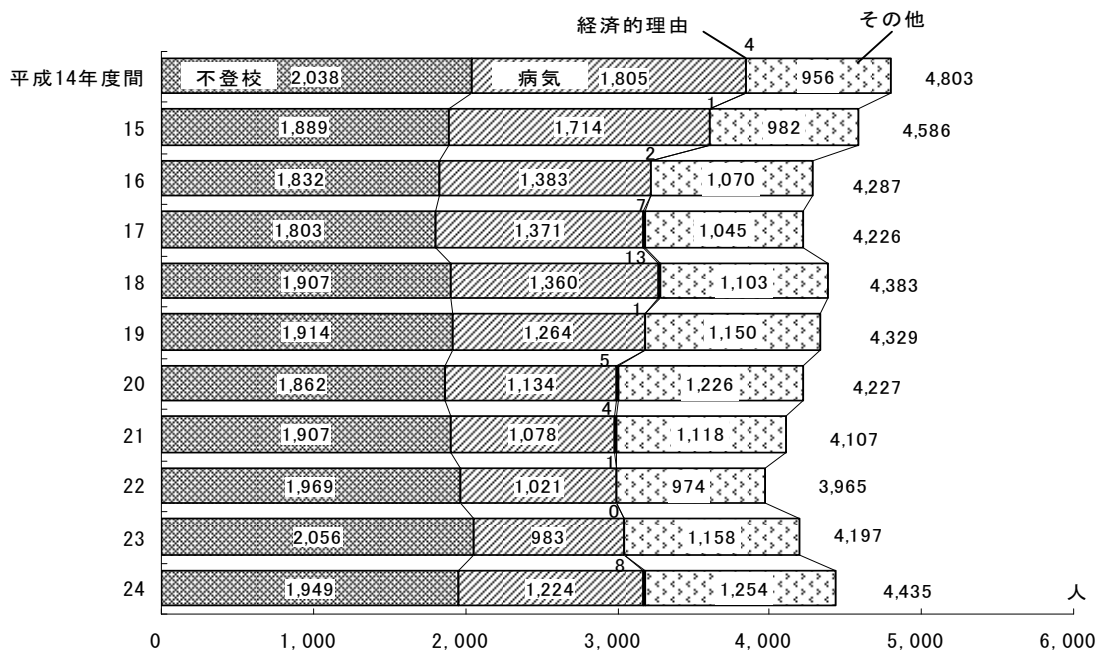
(単位：校、学級、人)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)
学校数	275	299	304	313	318	327	334	7
学級数	574	730	766	797	832	841	848	7
児童数	3,454	4,646	4,940	5,179	5,383	5,410	5,529	119
知的障害	2,940	4,182	4,472	4,708	4,913	4,940	5,006	66
肢体不自由	57	63	59	63	52	48	49	1
病弱・身体虚弱	187	99	76	67	74	49	43	△ 6
弱視	—	—	—	—	—	—	—	—
難聴	—	—	—	—	—	—	—	—
言語障害	—	—	—	—	—	—	—	—
情緒障害	270	302	333	341	344	373	431	58

(6) 長期欠席者数

- ① 平成 24 年度間に 30 日以上欠席した児童は 4,435 人で前年度間より 238 人増加した。10 年前の平成 14 年度間と比較すると 368 人減少した。
- ② 理由別内訳では、病気が 1,224 人で 241 人、経済的理由が 8 人で 8 人、その他が 1,254 人で 96 人それぞれ前年度間より増加し、不登校は 1,949 人で 107 人減少した。
- ③ 平成 24 年度の児童総数 586,412 人からみると、長期欠席者の割合は 132 人に 1 人となり、理由別内訳では不登校が 301 人に 1 人となった。(図 7、統計表 3-5)

図 7 理由別長期欠席者数の推移(年度間30日以上)



(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は、32,335 人で前年度より 89 人増加した。10 年前の平成 15 年度と比較すると 2,962 人増加した。
- ② 男女別では、男が 12,044 人で前年度より 183 人増加し、女が 20,291 人で 94 人減少した。
- ③ 設置者別では、国立が 171 人で 3 人、公立が 30,760 人で 98 人前年度よりそれぞれ増加し、私立は 1,404 人で 12 人減少した。
- ④ 教員数に占める女性教員の割合は 62.8%で、前年度より 0.4 ポイント低下した。

(表 15、統計表 3-6)

表 15 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	29,373	30,860	31,077	31,447	31,877	32,246	32,335	89	100.0
(男女別)									
男	10,276	11,026	11,248	11,446	11,668	11,861	12,044	183	37.2
女	19,097	19,834	19,829	20,001	20,209	20,385	20,291	△ 94	62.8
(設置者別)									
国立	166	175	172	173	176	168	171	3	0.5
公立	27,959	29,337	29,546	29,896	30,302	30,662	30,760	98	95.1
私立	1,248	1,348	1,359	1,378	1,399	1,416	1,404	△ 12	4.3
女性教員の割合	65.0	64.3	63.8	63.6	63.4	63.2	62.8	△ 0.4	—

4 中学校

(1) 学校数

- ① 学校数は818校で前年度より1校減少した。10年前の平成15年度と比較すると21校減少した。
- ② 地域別にみると、区部が534校で前年度より1校減少したが、市部は262校、郡部は7校、島部は15校で前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、公立が624校で前年度より1校減少したが、国立は6校、私立は188校で前年度と同数である。構成比では、公立が全体の76.3%を占めている。
- ④ 中高一貫教育を行う学校は20校で前年度と同数である。 (表16、統計表4-1)
- ※ 中高一貫教育については、利用上の注意「中高一貫教育」を参照。

表16 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	839	822	817	822	819	819	818	△ 1	100.0
(地 域 別)									
区 部	557	540	535	539	537	535	534	△ 1	65.3
市 部	257	260	260	261	260	262	262	0	32.0
郡 部	8	7	7	7	7	7	7	0	0.9
島 部	17	15	15	15	15	15	15	0	1.8
(設 置 者 別)									
国 立	7	7	6	6	6	6	6	0	0.7
公 立	653	631	627	629	626	625	624	△ 1	76.3
私 立	179	184	184	187	187	188	188	0	23.0
	(1)	(3)	(3)	(4)	(4)	(3)	(3)		
中高一貫教育を行う学校(再掲)	...	14	15	18	19	20	20	0	2.4
併 設 型	...	4	5	8	9	10	10	0	1.2
連 携 型	...	10	10	10	10	10	10	0	1.2

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 学級数

- ① 学級数は9,662学級で前年度より141学級増加した。10年前の平成15年度と比較すると746学級増加した。
- ② 設置者別では、公立が7,342学級で前年度より156学級増加し、私立は2,248学級で15学級減少した。国立は72学級で前年度と同数である。
- ③ 収容人員別では1学級31人～35人の学級が3,532学級で最も多く、次いで36人～40人の学級が3,097学級、26人～30人の学級が1,225学級となった。 (表17、統計表4-3)

表17 設置者、収容人員別学級数

(単位：学級)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	12							
								人以下	13～20	21～25	26～30	31～35	36～40	41～45	46人以上
総 数	8,916	9,165	9,300	9,297	9,466	9,521	9,662	665	184	260	1,225	3,532	3,097	608	91
国 立	84	76	72	72	72	72	72	2	1	—	—	3	46	20	—
公 立	6,801	6,834	6,932	6,949	7,116	7,186	7,342	550	62	155	941	3,149	2,478	7	—
私 立	2,031	2,255	2,296	2,276	2,278	2,263	2,248	113	121	105	284	380	573	581	91

(3) 生徒数

- ① 生徒数は312,764人で前年度より1,006人増加した。
- ② 地域別にみると、区部は201,190人で526人、市部が109,495人で505人、島部が620人で8人それぞれ前年度より増加し、郡部は1,459人で前年度より33人減少した。
- ③ 設置者別では、公立が233,384人で前年度より2,173人増加し、私立は76,597人で1,151人、国立は2,783人で16人、前年度よりそれぞれ減少した。
- ④ 設置者別の構成比では、公立が全体の74.6%を占めている。

(表18、統計表4-4)

表18 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	299,439	307,538	311,305	309,247	311,982	311,758	312,764	1,006	100.0
(男女別)									
男	150,463	154,684	156,651	155,646	157,266	157,495	158,290	795	50.6
女	148,976	152,854	154,654	153,601	154,716	154,263	154,474	211	49.4
(地域別)									
区 部	194,496	198,947	201,532	199,721	201,237	200,664	201,190	526	64.3
市 部	102,510	106,381	107,600	107,403	108,608	108,990	109,495	505	35.0
郡 部	1,661	1,527	1,547	1,522	1,524	1,492	1,459	△ 33	0.5
島 部	772	683	626	601	613	612	620	8	0.2
(設置者別)									
国 立	3,253	2,979	2,819	2,816	2,799	2,799	2,783	△ 16	0.9
公 立	221,854	222,919	225,885	225,365	229,483	231,211	233,384	2,173	74.6
私 立	74,332	81,640	82,601	81,066	79,700	77,748	76,597	△ 1,151	24.5

(4) 1学級当たりの生徒数及び教員(本務者)1人当たりの生徒数

1学級当たりの生徒数は32.4人で前年度より0.3人減少した。10年前の平成15年度と比較すると1.2人減少した。また、教員(本務者)1人当たりの生徒数は16.1人で、前年度より0.1人減少した。10年前の平成15年度と比較すると0.3人減少した。

(表19、統計表4-3、4-4、4-7)

表19 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの生徒数

(単位：学級、人)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)
学 級 数	8,916	9,165	9,300	9,297	9,466	9,521	9,662	141
生 徒 数	299,439	307,538	311,305	309,247	311,982	311,758	312,764	1,006
教員数(本務者)	18,223	18,530	18,690	18,749	19,055	19,209	19,406	197
1学級当たり 生徒数	33.6	33.6	33.5	33.3	33.0	32.7	32.4	△ 0.3
教員1人当たり 生徒数	16.4	16.6	16.7	16.5	16.4	16.2	16.1	△ 0.1

(5) 特別支援学級のある学校数、学級数及び生徒数

- ① 特別支援学級のある学校数は193校で、前年度より5校増加した。
- ② 学級数は516学級で、前年度より26学級増加した。
- ③ 生徒数は3,438人で前年度より159人増加した。10年前の平成15年度と比較すると1,639人増加した。

(表20、統計表4-9)

表20 特別支援学級のある学校数、学級数及び生徒数

(単位：校、学級、人)

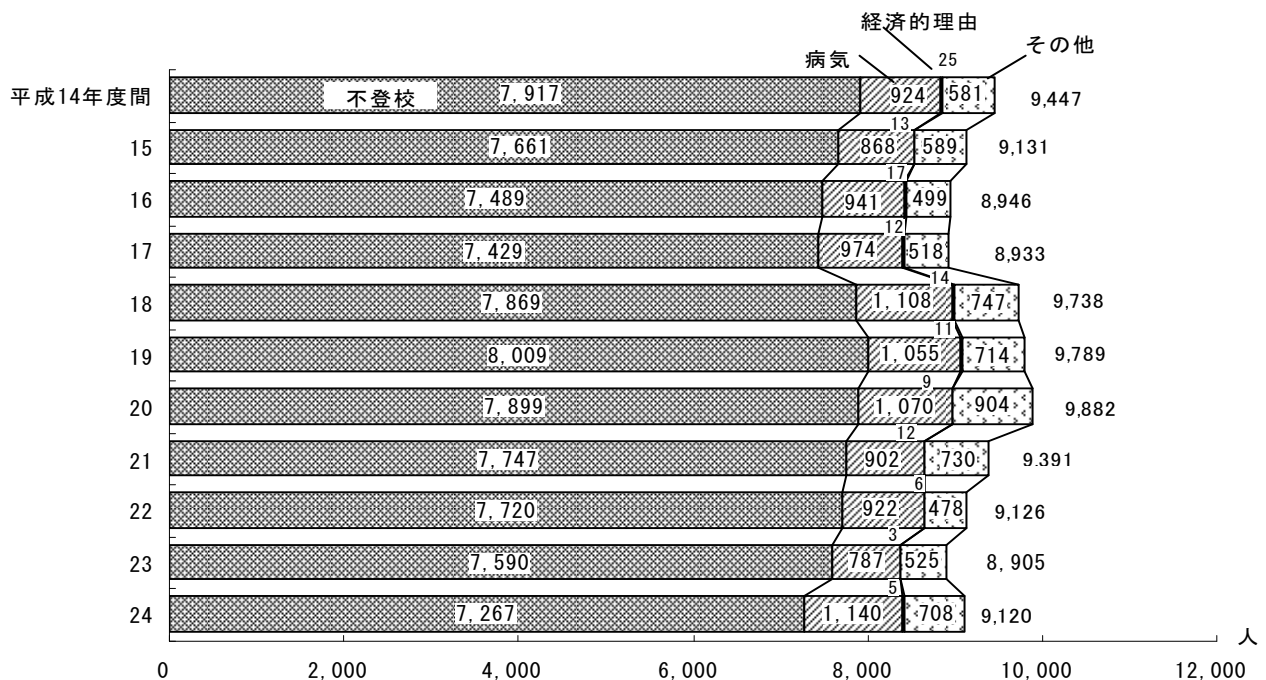
区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)
学校数	146	165	170	170	181	188	193	5
学級数	283	406	432	451	477	490	516	26
生徒数	1,799	2,645	2,883	3,011	3,198	3,279	3,438	159
知的障害	1,653	2,461	2,668	2,780	2,939	3,012	3,135	123
肢体不自由	14	18	18	18	27	27	30	3
病弱・身体虚弱	1	1	2	—	—	1	—	△1
弱視	—	—	—	—	—	—	—	—
難聴	—	—	—	—	—	—	—	—
言語障害	—	—	—	—	—	—	—	—
情緒障害	131	165	195	213	232	239	273	34

(6) 長期欠席者数

- ① 平成24年度間に30日以上欠席した生徒は、9,120人で前年度間より215人増加した。
- ② 理由別内訳では、不登校が7,267人で前年度間より323人減少し、病気は1,140人で353人、経済的理由が5人で2人、その他が708人で183人、それぞれ前年度間より増加した。
- ③ 平成24年度の生徒総数311,758人からみると、長期欠席者の割合が34人に1人となり、理由別内訳では不登校が43人に1人、病気が273人に1人となった。

(図8、統計表4-6)

図8 理由別長期欠席者数の推移(年度間30日以上)



(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は19,406人で前年度より197人増加した。10年前の平成15年度と比較すると1,183人増加した。
- ② 男女別では、男は11,097人で39人、女は8,309人で158人それぞれ前年度より増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は42.8%で前年度より0.4ポイント上昇した。
- ④ 設置者別では、公立が15,097人で206人増加し、国立は138人で2人、私立は4,171人で7人それぞれ前年度より減少した。

(表21、統計表4-7)

表21 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位:人、%、ポイント)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	18,223	18,530	18,690	18,749	19,055	19,209	19,406	197	100.0
(男 女 別)									
男	10,623	10,844	10,923	10,896	11,062	11,058	11,097	39	57.2
女	7,600	7,686	7,767	7,853	7,993	8,151	8,309	158	42.8
(設 置 者 別)									
国 立	164	142	144	142	138	140	138	△ 2	0.7
公 立	14,311	14,305	14,360	14,404	14,669	14,891	15,097	206	77.8
私 立	3,748	4,083	4,186	4,203	4,248	4,178	4,171	△ 7	21.5
女性教員の割合	41.7	41.5	41.6	41.9	41.9	42.4	42.8	0.4	—

5 高等学校

〔全日制課程・定時制課程〕

(1) 学校数

- ① 学校数は431校で前年度より1校減少した。10年前の平成15年度と比較すると21校減少した。
- ② 地域別にみると、市部が115校で前年度より1校減少し、区部は308校、郡部は1校、島部は7校でそれぞれ前年度と同数である。
- ③ 設置者別では、国立が6校、私立が237校でそれぞれ前年度と同数で、公立が188校で前年度より1校減少した。構成比では、私立が全体の55.0%を占めている。
- ④ 課程別では、全日制課程のみの設置校が355校で前年度より1校減少し、定時制課程のみの設置校が15校、全日制・定時制併置校が61校でそれぞれ前年度と同数である。
- ⑤ 中高一貫教育を行う学校は16校で、前年度と同数である。 (表22、統計表5-1)

※ 中高一貫教育については、利用上の注意「中高一貫教育」を参照のこと。

表22 地域、設置者、課程別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	452	447	438	435	434	432	431	△ 1	100.0
(地 域 別)									
区 部	326	320	313	311	310	308	308	0	71.5
市 部	118	119	117	116	116	116	115	△ 1	26.7
郡 部	1	1	1	1	1	1	1	0	0.2
島 部	7	7	7	7	7	7	7	0	1.6
(設 置 者 別)									
国 立	6	6	6	6	6	6	6	0	1.4
公 立	208	203	195	192	191	189	188	△ 1	43.6
私 立	238	238	237	237	237	237	237	0	55.0
(課 程 別)									
全 日 制	(2)	(3)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)		
定 時 制	334	344	345	359	358	356	355	△ 1	82.4
併 置	11	25	21	15	15	15	15	0	3.5
併 置	107	78	72	61	61	61	61	0	14.2
中高一貫教育を行う学校(再掲)	...	10	11	14	15	16	16	0	3.7
併 設 型	...	4	5	8	9	10	10	0	2.3
連 携 型	...	6	6	6	6	6	6	0	1.4

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数(本科)

- ① 生徒数は312,593人で前年度より2,669人減少した。
- ② 地域別にみると、区部が222,461人で1,804人、市部が88,838人で824人、郡部が606人で5人、島部が688人で36人それぞれ前年度より減少した。
- ③ 設置者別では、国立が3,316人で11人、公立が135,274人で823人、私立が174,003人で1,835人それぞれ前年度より減少した。
- ④ 課程別では、全日制が297,145人で2,144人、定時制は15,448人で525人それぞれ前年度より減少した。 (表23、統計表5-5)

表23 男女、地域、設置者、課程別生徒数（本科）

（単位：人、％）

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	329,659	306,508	308,253	313,183	313,779	315,262	312,593	△ 2,669	100.0
(男 女 別)									
男	163,052	151,763	152,467	154,385	154,369	154,865	153,505	△ 1,360	49.1
女	166,607	154,745	155,786	158,798	159,410	160,397	159,088	△ 1,309	50.9
(地 域 別)									
区 部	231,843	217,201	218,436	222,275	223,103	224,265	222,461	△ 1,804	71.2
市 部	96,388	87,918	88,446	89,518	89,309	89,662	88,838	△ 824	28.4
郡 部	606	585	571	597	609	611	606	△ 5	0.2
島 部	822	804	800	793	758	724	688	△ 36	0.2
(設 置 者 別)									
国 立	3,463	3,490	3,493	3,445	3,378	3,327	3,316	△ 11	1.1
公 立	142,045	129,663	130,827	133,542	134,864	136,097	135,274	△ 823	43.3
私 立	184,151	173,355	173,933	176,196	175,537	175,838	174,003	△ 1,835	55.7
(課 程 別)									
全 日 制	315,959	291,722	293,039	297,315	297,640	299,289	297,145	△ 2,144	95.1
定 時 制	13,700	14,786	15,214	15,868	16,139	15,973	15,448	△ 525	4.9

(3) 学科別生徒数（本科）

学科別生徒数は、普通科が266,930人で最も多く、次いで工業科15,236人、総合学科10,334人である。

（表24、統計表5-6）

表24 学科別生徒数（本科）

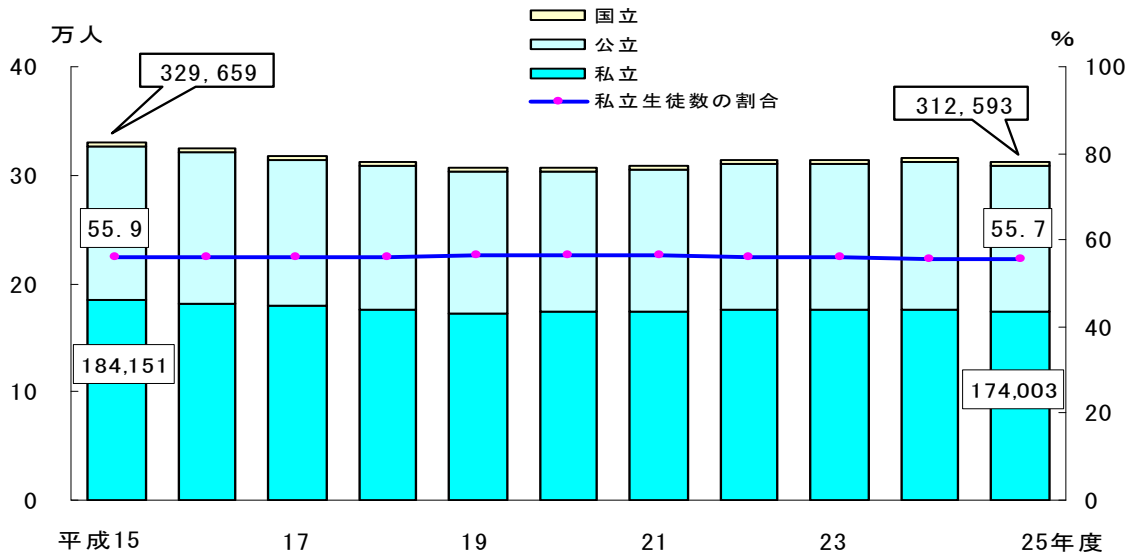
（単位：人、％）

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	329,659	306,508	308,253	313,183	313,779	315,262	312,593	△ 2,669	100.0
普 通 科	283,728	264,287	265,287	269,386	268,683	269,499	266,930	△ 2,569	85.4
農 業	2,885	2,260	2,277	2,308	2,358	2,346	2,336	△ 10	0.7
工 業	19,982	15,154	14,576	14,635	15,124	15,370	15,236	△ 134	4.9
商 業	13,732	9,289	9,190	9,383	9,601	9,600	9,299	△ 301	3.0
水 産	119	—	—	—	—	—	—	—	—
家 庭	1,856	1,460	1,420	1,331	1,266	1,248	1,329	81	0.4
看 護	126	145	157	159	178	192	189	△ 3	0.1
情 報	51	222	226	236	244	246	238	△ 8	0.1
福 祉	—	98	93	98	97	101	99	△ 2	0.0
そ の 他	4,927	5,909	6,395	6,412	6,485	6,435	6,603	168	2.1
総 合 学 科	2,253	7,684	8,632	9,235	9,743	10,225	10,334	109	3.3

(4) 生徒総数に占める私立生徒数の割合（本科）

生徒総数に占める私立学校生徒数の割合は55.7%となり、10年前の平成15年度と比較すると0.2ポイント低下した。（図9、統計表5-5）

図9 設置者別高等学校生徒数及び私立生徒数の割合の推移（本科）



(5) 教員（本務者）1人当たりの生徒数（本科）

教員（本務者）1人当たりの生徒数は16.4人で前年度より0.2人減少し、10年前の平成15年度と比較すると0.6人減少した。（表25、統計表5-5、5-10）

表25 教員（本務者）1人当たりの生徒数

（単位：人）

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)
本科生徒数	329,659	306,508	308,253	313,183	313,779	315,262	312,593	△2,669
教員数（本務者）	19,445	18,513	18,569	18,672	18,750	18,951	19,009	58
教員1人当たり 本科生徒数	17.0	16.6	16.6	16.8	16.7	16.6	16.4	△0.2

(6) 設置者別入学者数

- ① 入学者は、106,125人で前年度より286人減少した。
- ② 入学者のうち他県所在の中学校卒業者等の占める割合は10.6%で前年度より0.3ポイント上昇した。設置者別では、国立が24.6%、公立が0.9%、私立が18.0%である。（表26、統計表5-8）

表26 設置者別入学者数

（単位：人、%）

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	国立	公立	私立
総数 (A)	111,279	104,985	105,352	108,792	104,781	106,411	106,125	1,106	46,335	58,684
うち他県所在の中学校 卒業者及び中等教育学校 前期課程修了者 (B)	14,158	12,722	12,703	12,145	10,935	10,933	11,213	272	398	10,543
割合 (B)/(A)	12.7	12.1	12.1	11.2	10.4	10.3	10.6	24.6	0.9	18.0

(7) 教員数(本務者)

- ① 教員数は19,009人で前年度より58人増加した。10年前の平成15年度と比較すると436人減少した。
- ② 男女別にみると、男が12,760人で前年度より72人減少、女は6,249人で前年度より130人増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は32.9%で、前年度より0.6ポイント上昇した。
- ④ 設置者別では、国立は208人で2人、公立は9,394人で24人それぞれ前年度より減少し、私立は9,407人で84人前年度より増加した。(表27、統計表5-10)

表27 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位:人、%、ポイント)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	19,445	18,513	18,569	18,672	18,750	18,951	19,009	58	100.0
(男女別)									
男	13,840	12,913	12,887	12,838	12,812	12,832	12,760	△72	67.1
女	5,605	5,600	5,682	5,834	5,938	6,119	6,249	130	32.9
(設置者別)									
国立	235	206	206	208	205	210	208	△2	1.1
公立	10,191	9,336	9,268	9,284	9,313	9,418	9,394	△24	49.4
私立	9,019	8,971	9,095	9,180	9,232	9,323	9,407	84	49.5
女性教員の割合	28.8	30.2	30.6	31.2	31.7	32.3	32.9	0.6	—

[通信制課程]

(8) 学校数、生徒数、教員数(本務者)

- ① 学校数は13校(独立校4校、併置校9校)で前年度と同数である。
- ② 生徒数は13,742人で前年度より303人減少した。
- ③ 年齢別では「15歳～17歳」が9,638人で全体の70.1%で、「18歳～19歳」が1,786人、「20歳～29歳」が1,087人であった。
- ④ 教員数は296人で前年度より6人減少した。(表28、統計表5-12、5-13)

表28 通信制課程の学校数、生徒数及び教員数(本務者)

(単位:校、人、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
学校数	10	12	13	13	13	13	13	0	100.0
独立校	3	3	4	4	4	4	4	0	30.8
併置校	7	9	9	9	9	9	9	0	69.2
生徒数	22,699	18,735	18,616	16,624	14,255	14,045	13,742	△303	100.0
15～17歳	16,045	10,606	10,234	10,049	9,651	9,621	9,638	17	70.1
18～19	3,625	2,793	2,461	2,354	2,147	2,032	1,786	△246	13.0
20～29	2,132	2,139	1,952	1,603	1,360	1,273	1,087	△186	7.9
30～39	404	1,137	1,327	845	437	438	443	5	3.2
40～49	137	920	1,204	767	289	317	397	80	2.9
50～59	186	809	1,006	634	158	177	194	17	1.4
60歳以上	170	331	432	372	213	187	197	10	1.4
教員数(本務者)	328	315	317	311	306	302	296	△6	—

注) 独立校とは通信制課程のみの学校、併置校とは全日制や定時制と併置している学校である。

(3) 教員（本務者）1人当たりの生徒数

教員（本務者）1人当たりの生徒数は13.0人で、前年度より0.1人減少した。10年前の平成15年度と比較すると3.5人減少した。（表31、統計表6-3、6-5）

表31 教員（本務者）1人当たりの生徒数

（単位：人）

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)
生 徒 数	693	2,759	3,481	4,385	5,319	5,940	6,422	482
教員数（本務者）	42	218	248	401	444	453	495	42
教員1人当たり 生 徒 数	16.5	12.7	14.0	10.9	12.0	13.1	13.0	△ 0.1

(4) 教員数（本務者）

- ① 教員数は495人で前年度より42人増加した。10年前の平成15年度と比較すると453人増加した。
- ② 男女別では、男が326人で28人、女は169人で14人それぞれ前年度より増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は34.1%で、前年度より0.1ポイント低下した。
- ④ 設置者別では、国立が96人で1人、公立は399人で41人それぞれ前年度より増加した。

（表32、統計表6-5）

表32 男女、設置者別教員数（本務者）

（単位：人、%、ポイント）

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)	構 成 比
総 数	42	218	248	401	444	453	495	42	100.0
（男女別）									
男	29	139	147	268	299	298	326	28	65.9
女	13	79	101	133	145	155	169	14	34.1
（設置者別）									
国 立	42	95	95	96	96	95	96	1	19.4
公 立	—	123	153	305	348	358	399	41	80.6
私 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
女性教員の割合	31.0	36.2	40.7	33.2	32.7	34.2	34.1	△ 0.1	—

7 特別支援学校

(1) 学校数

- ① 学校数は69校で、前年度より1校増加した。10年前の平成15年度と比較すると同数であった。
- ② 設置者別では、公立が61校で前年度より1校増加し、国立が4校、私立が4校で前年度と同数であった。(表33、統計表7-1)

表33 設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	69	67	68	68	69	68	69	1	100.0
国立	4	4	4	4	4	4	4	0	5.8
公立	62	59	60	60	61	60	61	1	88.4
私立	3	4	4	4	4	4	4	0	5.8

注) 平成15年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(2) 学級数

- 学級数は2,565学級で前年度より47学級増加した。10年前の平成15年度と比較すると534学級増加した。(表34、統計表7-2)

表34 部別学級数

(単位：学級、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	2,031	2,269	2,353	2,406	2,459	2,518	2,565	47	100.0
幼稚部	49	48	49	46	48	47	48	1	1.9
小学部	832	923	937	954	963	970	990	20	38.6
中学部	483	543	571	574	588	596	620	24	24.2
高等部	667	755	796	832	860	905	907	2	35.4

注) 平成15年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(3) 在学者数

- ① 在学者数は12,367人で前年度より342人増加した。10年前の平成15年度と比較すると3,814人増加した。
- ② 部別では、幼稚部が188人で12人、小学部が3,884人で102人、中学部が2,591人で120人、高等部が5,704人で108人それぞれ前年度より増加した。
- ③ 設置者別では、国立が466人で4人、公立が11,660人で329人、私立が241人で9人それぞれ前年度より増加した。(表35、統計表7-3)

表35 男女、部、設置者別在学者数

(単位：人、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	8,553	10,252	10,804	11,145	11,592	12,025	12,367	342	100.0
(男女別)									
男	5,510	6,636	7,000	7,214	7,503	7,798	8,017	219	64.8
女	3,043	3,616	3,804	3,931	4,089	4,227	4,350	123	35.2
(部別)									
幼稚部	195	206	197	176	178	176	188	12	1.5
小学部	2,911	3,502	3,595	3,627	3,706	3,782	3,884	102	31.4
中学部	1,806	2,169	2,290	2,323	2,408	2,471	2,591	120	21.0
高等部	3,641	4,375	4,722	5,019	5,300	5,596	5,704	108	46.1
(設置者別)									
国立	466	456	475	463	465	462	466	4	3.8
公立	7,909	9,580	10,110	10,456	10,893	11,331	11,660	329	94.3
私立	178	216	219	226	234	232	241	9	1.9

注) 平成15年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(4) 1学級当たりの在学者数及び教員(本務者)1人当たりの在学者数

- ① 1学級当たりの在学者数は4.8人で前年度と同数であった。
- ② 教員1人当たりの在学者数は2.1人で前年度と同数であった。10年前の平成15年度と比較すると0.3人増加した。(表36、統計表7-2、7-3、7-6)

表36 1学級当たり、教員(本務者)1人当たりの在学者数

(単位：学級、人)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)
学 級 数	2,031	2,269	2,353	2,406	2,459	2,518	2,565	47
在 学 者 数	8,553	10,252	10,804	11,145	11,592	12,025	12,367	342
教員数(本務者)	4,790	5,288	5,486	5,613	5,723	5,804	5,868	64
1学級当たり 在学者数	4.2	4.5	4.6	4.6	4.7	4.8	4.8	0.0
教員1人当たり 在学者数	1.8	1.9	2.0	2.0	2.0	2.1	2.1	0.0

注) 平成15年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

(5) 障害種別学校数、学級数及び在学者数

障害種別では、学校数、学級数及び在学者数とも知的障害が最も多い。(表37、統計表7-4、7-5)

表37 障害種別学校数、学級数及び在学者数

(単位：校、学級、人)

区 分	学 校 数	学 級 数	在 学 者 数				
				幼 稚 部	小 学 部	中 学 部	高 等 部
総 数	69	2,565	12,367	188	3,884	2,591	5,704
視 覚 障 害	4	86	387	40	56	62	229
聴 覚 障 害	6	150	724	120	259	157	188
知 的 障 害	34	1,235	7,759	19	1,878	1,446	4,416
肢 体 不 自 由	12	325	1,332	—	594	373	365
病 弱・身 体 虚 弱	4	51	192	—	134	51	7
そ の 他	9	718	1,973	9	963	502	499

注1) 学校数は、学校教育法第73条により当該学校が教育の対象としている障害に計上した。

2) 「その他」とは、複数の障害種別の組み合わせである。

(6) 教員数(本務者)

- ① 教員数は5,868人で前年度より64人増加した。10年前の平成15年度と比較すると1,078人増加した。
- ② 男女別では、男が2,377人で16人、女が3,491人で48人それぞれ前年度より増加した。
- ③ 教員数に占める女性教員の割合は59.5%で前年度より0.2ポイント上昇した。(表38、統計表7-6)

表38 男女、設置者別教員数(本務者)

(単位：人、%、ポイント)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減	構 成 比
								(対前年度)	
総 数	4,790	5,288	5,486	5,613	5,723	5,804	5,868	64	100.0
男	2,074	2,186	2,250	2,301	2,321	2,361	2,377	16	40.5
女	2,716	3,102	3,236	3,312	3,402	3,443	3,491	48	59.5
(設置者別)									
国 立	219	225	230	225	225	225	226	1	3.9
公 立	4,503	4,982	5,171	5,295	5,396	5,476	5,549	73	94.6
私 立	68	81	85	93	102	103	93	△ 10	1.6
女性教員の割合	56.7	58.7	59.0	59.0	59.4	59.3	59.5	0.2	—

注) 平成15年度の数値は、盲学校、聾学校及び養護学校の合計である。

8 専修学校

(1) 学校数

- ① 学校数は413校で前年度より6校減少した。10年前の平成15年度と比較すると50校減少した。
- ② 地域別にみると、区部が352校で5校、市部が61校で1校それぞれ前年度より減少した。
- ③ 設置者別では、国立が2校で前年度と同数で、公立は8校で1校、私立は403校で5校それぞれ前年度より減少した。

(表39、統計表8-1)

表39 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	463	451	449	446	431	419	413	△6	100.0
(地域別)									
区部	395	382	382	379	367	357	352	△5	85.2
市部	68	69	67	67	64	62	61	△1	14.8
郡部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	7	3	3	2	2	2	2	0	0.5
公立	12	9	9	9	9	9	8	△1	1.9
私立	444	439	437	435	420	408	403	△5	97.6
	(20)	(21)	(20)	(32)	(26)	(19)	(17)		

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

- ① 生徒数は144,189人で前年度より2,200人増加した。10年前の平成15年度と比較すると50,355人減少した。
- ② 男女別にみると、男が68,090人で685人、女は76,099人で1,515人それぞれ前年度より増加した。
- ③ 地域別では、区部が124,010人で前年度より2,633人増加し、市部は20,179人で433人減少した。
- ④ 設置者別では、私立が142,266人で前年度より2,203人増加した。

(表40、統計表8-6)

表40 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	194,544	151,115	140,875	141,767	142,547	141,989	144,189	2,200	100.0
(男女別)									
男	94,877	72,218	67,300	67,529	68,002	67,405	68,090	685	47.2
女	99,667	78,897	73,575	74,238	74,545	74,584	76,099	1,515	52.8
(地域別)									
区部	167,520	130,059	121,558	122,108	122,206	121,377	124,010	2,633	86.0
市部	27,024	21,056	19,317	19,659	20,341	20,612	20,179	△433	14.0
郡部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設置者別)									
国立	985	239	231	100	77	55	48	△7	0.0
公立	2,784	1,865	1,893	1,885	1,848	1,871	1,875	4	1.3
私立	190,775	149,011	138,751	139,782	140,622	140,063	142,266	2,203	98.7

(3) 課程別生徒数

課程別の生徒数は、高等課程が3,105人で前年度より62人減少し、専門課程は131,363人で2,262人増加し、一般課程が9,721人で前年度と同数であった。構成比は専門課程が91.1%で前年度より0.2ポイント上昇した。

(表41、統計表8-6)

表41 課程別生徒数及び構成比

(単位：人、%、ポイント)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)
(実数)								
総数	194,544	151,115	140,875	141,767	142,547	141,989	144,189	2,200
高等課程	5,672	3,664	3,360	3,294	3,177	3,167	3,105	△ 62
専門課程	176,463	137,190	127,831	128,444	129,584	129,101	131,363	2,262
一般課程	12,409	10,261	9,684	10,029	9,786	9,721	9,721	0
(構成比)								
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
高等課程	2.9	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	0.0
専門課程	90.7	90.8	90.7	90.6	90.9	90.9	91.1	0.2
一般課程	6.4	6.8	6.9	7.1	6.9	6.8	6.7	△ 0.1

(4) 分野別生徒数

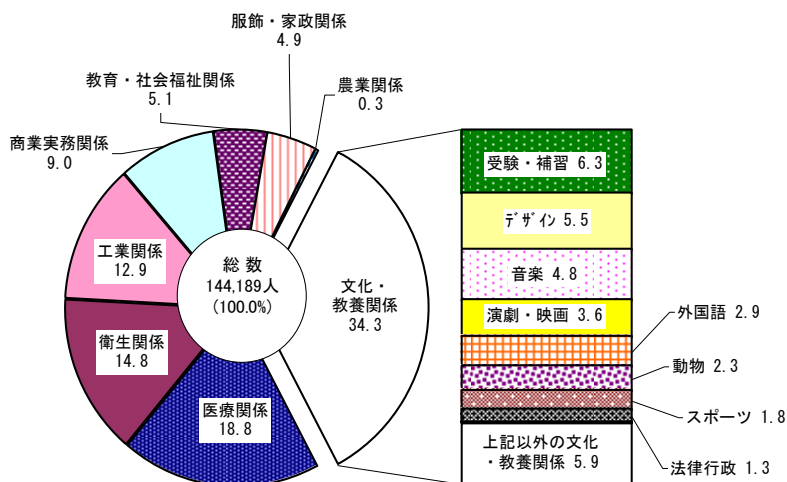
分野別生徒数では、多い順に「文化・教養関係」が49,520人で全体の34.3%を占め、次いで「医療関係」が27,176人、「衛生関係」が21,304人となった。生徒数を前年度と比較すると、「工業関係」、「農業関係」、「医療関係」、「衛生関係」、「教育・社会福祉関係」、「服飾・家政関係」、「文化・教養関係」が増加し、「商業実務関係」は減少した。(表42、図10、統計表8-7)

表42 分野別生徒数

(単位：人、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減 (対前年度)	構成比
総数	194,544	151,115	140,875	141,767	142,547	141,989	144,189	2,200	100.0
工業関係	32,010	18,053	17,260	17,598	17,961	18,120	18,540	420	12.9
農業関係	472	240	241	292	350	370	395	25	0.3
医療関係	31,291	27,529	26,502	26,012	26,621	27,048	27,176	128	18.8
衛生関係	24,887	20,706	18,907	19,611	20,525	20,689	21,304	615	14.8
教育・社会福祉関係	12,586	7,646	6,318	6,574	7,209	7,156	7,308	152	5.1
商業実務関係	17,843	15,848	14,641	14,515	13,982	13,492	12,921	△ 571	9.0
服飾・家政関係	12,842	9,157	7,881	7,475	6,727	6,670	7,025	355	4.9
文化・教養関係	62,613	51,936	49,125	49,690	49,172	48,444	49,520	1,076	34.3

図10 分野別生徒数の構成比



(5) 学科別生徒数(上位5学科・男女別)

生徒数の多い学科(上位5学科)を男女別にみると、男は「受験・補習」の6,583人が最も多く、次いで「音楽」、「調理」、「情報処理」、「柔道整備」の順となった。女は「美容」の7,423人が最も多く、次いで「看護」、「デザイン」、「和洋裁」、「音楽」の順となった。(表43、統計表8-7)

表43 男女別生徒数の多い学科(上位5学科)

(男)							
1位	受験・補習 7,473人	受験・補習 7,029人	受験・補習 6,655人	受験・補習 6,914人	受験・補習 6,712人	受験・補習 6,564人	受験・補習 6,583人
2位	情報処理 7,252人	デザイン 4,092人	情報処理 3,693人	音楽 3,392人	音楽 3,453人	音楽 3,450人	音楽 3,500人
3位	音楽 5,654人	情報処理 4,029人	デザイン 3,637人	情報処理 3,320人	デザイン 3,146人	情報処理 3,045人	調理 3,257人
4位	デザイン 5,296人	音楽 3,618人	音楽 3,414人	デザイン 3,260人	情報処理 3,110人	調理 2,972人	情報処理 3,058人
5位	自動車整備 4,634人	自動車整備 3,418人	自動車整備 3,273人	自動車整備 3,000人	自動車整備 2,946人	柔道整備 2,938人	柔道整備 3,028人
	平成15年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
(女)							
1位	美容 9,425人	美容 7,913人	美容 7,272人	美容 7,590人	美容 7,717人	美容 7,267人	美容 7,423人
2位	看護 7,956人	デザイン 6,199人	看護 6,172人	看護 6,157人	看護 6,462人	看護 6,698人	看護 6,313人
3位	和洋裁 7,435人	看護 6,083人	デザイン 5,830人	デザイン 5,545人	デザイン 5,255人	デザイン 5,017人	デザイン 5,075人
4位	デザイン 7,357人	和洋裁 5,946人	和洋裁 5,188人	和洋裁 4,769人	和洋裁 4,341人	和洋裁 4,375人	和洋裁 4,391人
5位	音楽 3,765人	旅行 3,764人	旅行 3,445人	旅行 3,357人	音楽 3,404人	音楽 3,395人	音楽 3,421人
	平成15年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度

注) 学科分類は、巻末の「専修・各種学校の分野、区分、学科・課程の内容例」を参照。

(6) 教員数

- ① 教員数は23,706人で前年度より3人減少した。10年前の平成15年度と比較すると2,768人減少した。
- ② 本務者・兼務者別でみると、本務者が7,427人で前年度より28人減少し、兼務者は16,279人で25人増加した。教員数に占める兼務者の割合は68.7%となった。(表44、統計表8-8)

表44 教員数

(単位: 人、%)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減 (対前年度)	構 成 比
教 員 数	26,474	25,516	25,247	24,206	23,911	23,709	23,706	△ 3	100.0
本 務 者	8,173	7,831	7,975	7,616	7,733	7,455	7,427	△ 28	31.3
兼 務 者	18,301	17,685	17,272	16,590	16,178	16,254	16,279	25	68.7

9 各種学校

(1) 学校数

- ① 学校数は161校で前年度より2校減少した。10年前の平成15年度と比較すると26校減少した。
 ② 地域別では、区部が141校で前年度より2校減少し、市部は19校、郡部は1校で前年度と同数である。
 ③ 設置者別では、私立学校のみである。 (表45、統計表9-1)

表45 地域、設置者別学校数

(単位：校、%)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	187	178	173	171	168	163	161	△ 2	100.0
(地 域 別)									
区 部	162	156	152	150	148	143	141	△ 2	87.6
市 部	24	21	20	20	19	19	19	0	11.8
郡 部	1	1	1	1	1	1	1	0	0.6
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 立	187	178	173	171	168	163	161	△ 2	100.0
	(50)	(54)	(54)	(57)	(58)	(55)	(56)		

注) () 内数値は、休校等の学校数で内数である。

(2) 生徒数

- ① 生徒数は22,185人で前年度より378人減少した。10年前の平成15年度と比較すると11,655人減少した。
 ② 男女別にみると、男が10,353人で157人、女が11,832人で221人それぞれ前年度より減少した。
 ③ 地域別では、区部が18,999人で264人、市部が3,186人で114人それぞれ前年度より減少した。

(表46、統計表9-1)

表46 男女、地域、設置者別生徒数

(単位：人、%)

区 分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増 減	
								(対前年度)	構 成 比
総 数	33,840	29,684	29,385	28,285	23,029	22,563	22,185	△ 378	100.0
(男 女 別)									
男	15,875	12,852	12,922	12,648	10,565	10,510	10,353	△ 157	46.7
女	17,965	16,832	16,463	15,637	12,464	12,053	11,832	△ 221	53.3
(地 域 別)									
区 部	29,798	25,950	25,725	24,723	19,660	19,263	18,999	△ 264	85.6
市 部	4,042	3,734	3,660	3,562	3,369	3,300	3,186	△ 114	14.4
郡 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(設 置 者 別)									
国 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 立	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私 立	33,840	29,684	29,385	28,285	23,029	22,563	22,185	△ 378	100.0

(3) 課程別生徒数(上位5課程・男女別)

生徒数の多い課程(上位5課程)を男女別にみると、男は「外国人学校」の5,207人が最も多く、次いで「外国語」、「料理」、「はり・きゅう・あんま」、「学習・補習」の順となった。女は「外国人学校」の5,144人が最も多く、次いで「外国語」、「料理」、「美術」、「音楽」の順となった。(表47、統計表9-2)

表47 男女別生徒数の多い課程(上位5課程)

(男)

順位	平成15年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1位	外国人学校 5,101人	外国人学校 5,868人	外国人学校 6,005人	外国人学校 5,789人	外国人学校 6,008人	外国人学校 5,359人	外国人学校 5,207人
2位	予備校 4,746人	外国語 2,276人	外国語 2,216人	外国語 2,281人	外国語 1,125人	外国語 1,198人	外国語 799人
3位	外国語 2,058人	予備校 841人	予備校 768人	予備校 785人	予備校 734人	予備校 660人	料理 232人
4位	はり・きゅう・あんま 264人	はり・きゅう・あんま 236人	はり・きゅう・あんま 216人	料理 224人	料理 236人	はり・きゅう・あんま 232人	はり・きゅう・あんま 225人
5位	料理・美術 103人	料理 193人	料理 215人	はり・きゅう・あんま 220人	はり・きゅう・あんま 214人	料理 213人	学習・補習 206人

(女)

順位	平成15年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
1位	外国語 5,698人	外国人学校 5,753人	外国人学校 5,778人	外国人学校 5,626人	外国人学校 5,706人	外国人学校 5,141人	外国人学校 5,144人
2位	外国人学校 4,869人	外国語 4,528人	外国語 4,457人	外国語 4,181人	外国語 2,251人	外国語 2,252人	外国語 1,614人
3位	予備校 1,694人	料理 1,088人	料理 1,115人	料理 1,009人	料理 951人	料理 1,066人	料理 1,088人
4位	料理 1,145人	予備校 522人	予備校 526人	予備校 559人	予備校 506人	美術 433人	美術 434人
5位	音楽 447人	音楽 458人	音楽 459人	音楽 422人	美術 422人	音楽 350人	音楽 307人

注) 課程の分類は、巻末の「専修・各種学校の分野、区分、学科・課程の内容例」を参照。

(4) 教員数

- ① 教員数は、3,178人で前年度より92人減少した。
- ② 本務者・兼務者別でみると、本務者が1,603人で5人、兼務者は1,575人で87人それぞれ前年度より減少した。また、教員数に占める兼務者の割合は49.6%となった。(表48、統計表9-1)

表48 教員数

(単位:人、%)

区分	平成15年度	20	21	22	23	24	25	増減(対前年度)	
								増減	構成比
教員数	3,683	3,460	3,442	3,410	3,377	3,270	3,178	△ 92	100.0
本務者	1,548	1,603	1,658	1,643	1,662	1,608	1,603	△ 5	50.4
兼務者	2,135	1,857	1,784	1,767	1,715	1,662	1,575	△ 87	49.6

【卒業後の状況調査】

1 中学校

(1) 卒業生数

平成25年3月の中学校卒業生は103,446人で前年度より625人減少した。(表49、統計表10-1)

(2) 卒業生の状況

- ① 高等学校等への進学者は101,677人で、前年度より470人減少した。
- ② 高等学校等への進学率は、98.3%で前年度より0.1ポイント上昇した。
- ③ 専修学校(高等課程)への進学者は405人で、前年度より85人減少した。
- ④ 専修学校(一般課程)等への入学者は203人で、前年度より24人増加した。
- ⑤ 公共職業能力開発施設等への入学者は40人で前年度より1人減少した。
- ⑥ 就職率は0.4%で前年度と同率である。

(表49、統計表10-1)

表49 状況別卒業生数(中学校)

(単位:人、%、ポイント)

区分	平成24年 3月	平成25年 3月	増減 (対前年度)
総数	104,071	103,446	△625
高等学校等進学者(A)	102,147	101,677	△470
専修学校(高等課程) 進学者(B)	490	405	△85
専修学校(一般課程) 等入学者(C)	179	203	24
公共職業能力開発施設 等入学者(D)	41	40	△1
就職者	362	338	△24
上記以外の者	830	778	△52
不詳・死亡	22	5	△17
上記(A)~(D)のうち就職 している者(再掲)	54	47	△7
高等学校等進学率	98.2	98.3	0.1
就職率	0.4	0.4	0.0

注1) 「高等学校等進学者」には、中等教育学校後期課程本科、高等専門学校、特別支援学校高等部への進学者を含む。

注2) 「上記以外の者」とは家事手伝い、外国の高等学校に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。

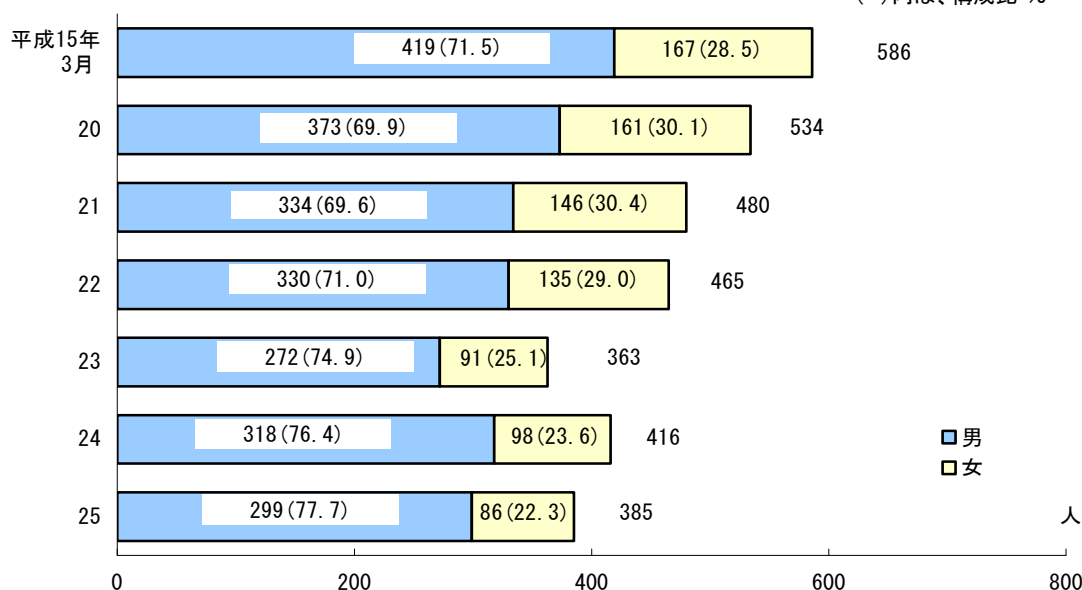
(3) 就職状況

就職者総数は385人(就職者338人、進学しながら就職している者47人)で前年度より31人減少した。男女別の就職者数をみると、例年男が女を上回っている。

(表49、図11、統計表10-1)

図11 男女別就職者数の推移(中学校)

()内は、構成比%



2 高等学校（全日制・定時制）

(1) 卒業者数

平成 25 年 3 月の高等学校卒業者は 101,970 人で、前年度より 3,470 人増加した。

(表 50、統計表 11-1)

(2) 卒業者の状況

- ① 大学等への進学者は 66,451 人で、前年度より 1,690 人増加した。
- ② 大学等への進学率は 10 年連続過去最高とはならず、65.2%で前年度より 0.5 ポイント低下した。
- ③ 専修学校（専門課程）への進学者は 13,248 人で、前年度より 1,382 人増加した。また、進学率は 13.0%で、前年度より 1.0 ポイント上昇した。
- ④ 専修学校（一般課程）等への入学者は 6,838 人で、前年度より 87 人減少した。
- ⑤ 公共職業能力開発施設等への入学者は 334 人で、前年度より 13 人増加した。

(表 50、統計表 11-2)

表 50 状況別卒業者数（高等学校）

区 分	(単位：人、%、ポイント)		
	平成24年 3月	平成25年 3月	増 減 (対前年度)
総 数	98,500	101,970	3,470
大学等進学者(A)	64,761	66,451	1,690
うち大学学部	61,321	63,266	1,945
うち短期大学本科	3,365	3,077	△ 288
専修学校(専門課程)進学者(B)	11,866	13,248	1,382
専修学校(一般課程)等入学者(C)	6,925	6,838	△ 87
公共職業能力開発施設等入学者(D)	321	334	13
就 職 者	5,536	5,989	453
一時的な仕事に就いた者	1,224	1,070	△ 154
上記以外の者	7,859	8,019	160
不 詳 ・ 死 亡	8	21	13
上記(A)～(D)のうち就職している者(再掲)	15	20	5
大学等進学率	65.7	65.2	△ 0.5
専修学校(専門課程)進学率	12.0	13.0	1.0
就 職 率	5.6	5.9	0.3
一時的な仕事に就いた者の割合	1.2	1.0	△ 0.2

注1) 「大学等進学者」には、大学・短大の別科、高等学校専攻科、特別支援学校高等部専攻科への進学者を含む。

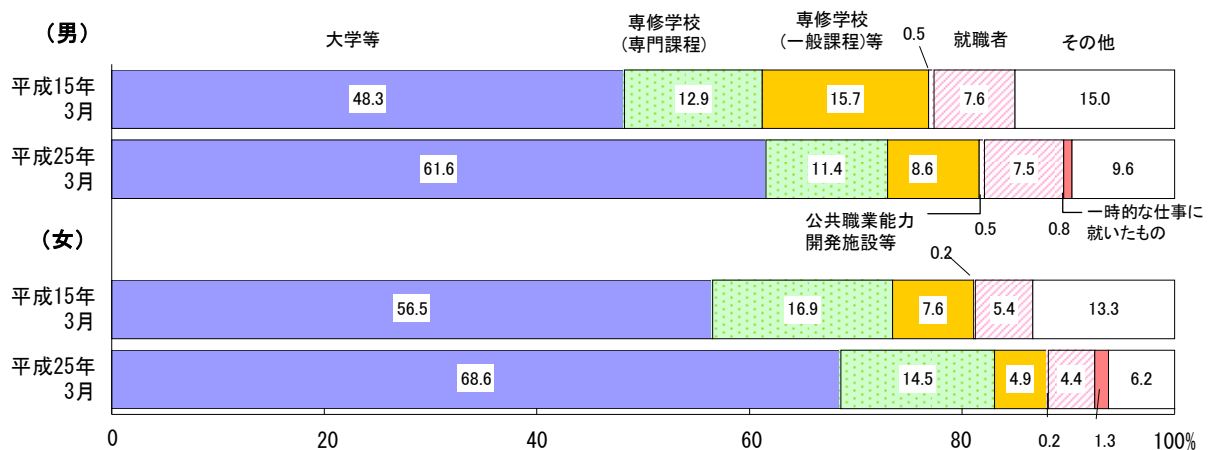
注2) 「上記以外の者」とは家事手伝い、外国の大学等に入学した者、各項目に該当せず進路が未定の者である。

(3) 状況別卒業者の割合（10年前との比較）

状況別卒業者の割合を 10 年前と比較した場合、大学等への進学者の割合が男女ともに上昇した。

(図 12、統計表 11-1)

図12 状況別卒業者の割合（10年前との比較）



注1) 「就職者」には、進学しながら就職している者を含まない。

注2) 「一時的な仕事に就いた者」は、平成16年度調査から追加された。

(4) 就職状況

- ① 就職者総数は6,009人(就職者5,989人、進学しながら就職している者20人)で前年度より458人増加した。男女別では、男が3,719人、女が2,290人となった。
- ② 就職率は5.9%で前年度より0.3ポイント上昇した。男女別では、男が7.5%、女が4.4%となった。
- ③ 職業別就職者数は、「生産工程従事者」が1,173人で就職者全体の19.5%と最も多く、次いで「サービス職業従事者」1,168人、「販売従事者」1,025人、「事務従事者」686人の順となった。
- ④ 産業別就職者数は、「製造業」が1,158人で就職者全体の19.3%と最も多く、次いで「卸売業、小売業」1,026人、「建設業」682人となった。(表50、図13、14、統計表11-1、11-7、11-9)

図13 職業別就職者数(平成25年3月)

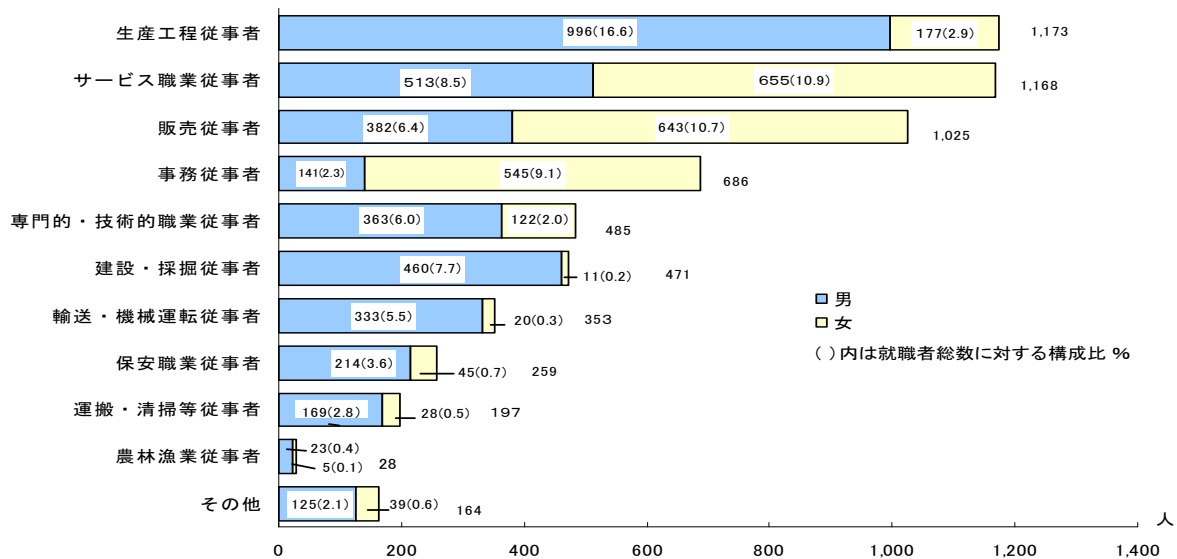


図14 産業別就職者数(平成25年3月)

